

## オヶ原池の水位低下、生き物たちにどのような影響を与えるのでしょうか？



マミズクラゲ

※水位低下の影響のためか、過去と比較して透明度が低くなっています。今年もマミズクラゲを見ることができるのか、調査の継続が求められています。

箕面の山のハイキングコースとして人気の高いオヶ原池(中心部の水深6.4m、貯水量12万 $m^3$ )、自然災害防止のため、昨年から徐々に水位を下げており、今後も3m近く下げた状態が継続される予定です。

ため池は、降雨時には雨水を一時的にためる洪水調節や土砂流出防止の役割がありますが、近年、集中豪雨が頻発する傾向にあり、大雨や大規模な地震などで、ため池が決壊した場合、下流の市街地に大きな被害をもたらす恐れがあり、ため池ハザードマップで注意を呼び掛けています。

生態系を活用した防災・減災における災害リスク低減の考え方としては、**森林保全による斜面崩壊の防止**や**遊水池や水田などの活用による洪水緩和**などがあげられています。

オヶ原池は、上下水道局浄水室が管理していますが、水需要の減少や琵琶湖総合開発による水資源の安定供給により、非常用水源としての必要性がなくなっているようです。

オヶ原池は、箕面の山の憩いの場所である他、マミズクラゲや絶滅危惧種であるベニイトトンボなどの貴重な生き物の生息場所になっているなど、公益的で多面的な機能を有しています。オヶ原池の水位低下が周辺環境や生き物たちにどのような影響を与えるのか、引き続き注視していく必要があります。

## 箕面の森には、生き物たちのたくさんの命のドラマにあふれています。

春から初夏にかけて新緑が美しい季節です。やわらかい葉っぱを一生懸命たべて早く成虫になって、次の世代に命をつなごうとする虫たち、その栄養価の高い虫をエサとして、この時期にいっせいに子育てをする鳥たち。箕面の森の中には、新緑が美しいこの時期、生きるためのたくさんの命のドラマにあふれています。



求愛 キビタキ



求愛 ヤマガラ



捕虫 オオルリ



捕虫 メジロ



給餌 メジロ



給餌 ツバメ



子育て サンコウチョウ



子育て カルガモ

野鳥の子育ての季節。まだ上手に飛べないヒナが地面に落ちていることがあります。見つけても、手を出さず、そっと、その場からはなれてください。誤って保護すると、近くにいる親鳥と引き離されてしまいます。

## 3月10日(日) 教学の森 ハート広場でドングリのなる木の植樹を行いました。

3月10日(日)、教学の森(箕面市有地)のハート広場で、山麓保全委員会と「オルタナの森・Minoh(青少年教学の森野外活動センター)」の共催で植樹を行いました。山麓保全委員会のほか、箕面の山パトロール隊3名、箕面の森のきこり隊7名、みのおフォレスターズ5名、及び「オルタナの森」が募集した4家族11名など、**計35名が参加**しました。

ハート広場周辺では、数年前に「ナラ枯れ」被害が拡大し、コナラなどのドングリのなる木の多くが枯れてしまいました。そこで、今回は「ナラ枯れ」枯死木、危険木として伐採された**跡地**にできたスペースを中心に、ドングリのなる木**クヌギ34本**を植樹しました。※苗木は神戸市西区にある住友ゴム工業からの提供していただき、シカに食べられないために必要な防鹿ネットなどの資材購入費は、山麓保全委員会に寄せられた災害復興募金を活用しました。



## 3月20日(祝) こもれびの森のハイキング道や作業道で植樹活動を行いました

こもれびの森(市有地)では、2018年の台風被害の後、大阪府が作業道を作って倒木を除去し、シカに食べられないための防鹿柵を設置して、森林の復活をめざしてきました。その後、市民が中心になって、毎年花のなる木の植樹や防鹿柵の設置や補修、下草刈りなどを行っていますが、2023年6月には、**防鹿柵外の作業道が崩落**してしまいました。

3月20日(祝)、山麓保全委員会のほか、箕面の山パトロール隊5名、箕面観光ボランティアガイド7名、箕面の森のきこり隊、みのおフォレスターズ、箕面ナチュラルクラブ、清水谷をまもる会、生きもの会議など、**計29人が参加**して、防鹿柵の外の崩落した作業道、及び防鹿柵の外のハイキング道で、**計110本の植樹活動**を行いました。

斜面が崩落した作業道では、シカが作業道に侵入しないようにネットを設置し、**クヌギの苗木44本**(住友ゴム工業から受贈)を植樹しました。防鹿柵の外のハイキング道では、**ウリハダカエデ31本、ヤマモモ6本**を植樹し、防鹿ネットを設置しました。シカが嫌いな**アセビの小さい苗23本**や**ヒサカキの小さい苗6本**は、防鹿ネットを設置せずに植樹しました。※防鹿ネットの資材やウリハダカエデの苗木購入費は、山麓保全委員会に寄せられた災害復興募金を活用しました。



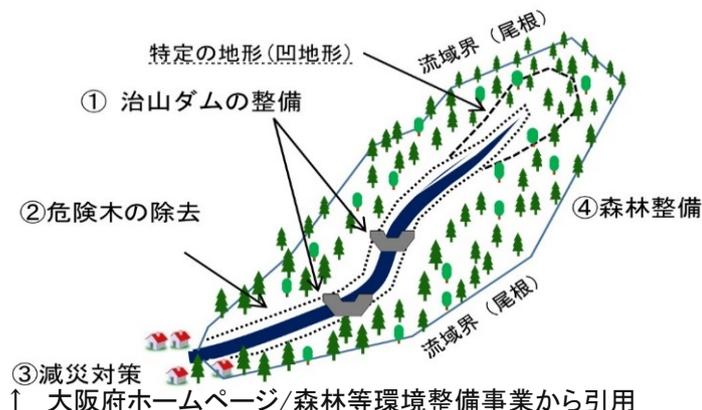
斜面が崩落した作業道

崩落した作業道にクヌギ44本を植樹

ハイキング道にウリハダカエデ31本を植樹

## 緊急かつ集中的に行う必要がある自然災害に強い森づくり

箕面大滝と急峻な渓谷美に代表される自然景観、豊かな自然の恵みは、箕面の観光資源にもなっていますが、一方で、急傾斜地が多く、複数の断層が走り、地滑りや斜面の崩壊が起こりやすい地形や地質により、何度も水害や自然災害に苦しめられてきました。近年、日本各地で局地的な集中豪雨が頻繁に発生し、土石流の発生時に溪流沿いの木を巻き込んで流れ出すことで、河川や水路などをふさぎ、市街地への被害を拡大させる**流木被害**が発生しています。



市街地の背後に山がせまっている箕面でも、ひとたび災害が発生すれば、市民の生命や財産が危険にさらされることになります。

緊急かつ集中的に、行政や山林所有者や市民の三者協働の取り組みの中で、自然災害に強い森づくりを進めていく必要があるでしょう。

### ○大阪府森林環境税による危険溪流対策の取り組み

2024年度には、大阪府が森林環境税を活用して、箕面市では、如意谷地区(オケ原池上流の谷筋)と新稲地区(教学の森周辺)の2ヶ所で、**①治山ダムの整備**や**②危険木の除去**など、危険溪流対策の取り組みが計画されています。

## 4月29日(祝)みのおキューズモールで「みのおの山と遊ぼう」のイベントを開催！

毎年11月3日に箕面公園で行っている山とみどりの市民イベント、より多くの市民の方に親しんでいただくため、「ふれあい広場 みのおの山と遊ぼう！」のテーマで、今年も4月29日(月・祝)に、箕面萱野駅が誕生したみのおキューズモールで開催します。ご家族で楽しんでいただけるイベントをたくさん用意していますので、ぜひお立ち寄りください！

★日時:4月29日(月・祝)午前10時30分～午後4時30分 ※雨天中止

★場所:みのおキューズモール EASTエリア-1F キューズステージ周辺

間伐材を使ったきこり体験、木片などの自然素材を使った工作遊び、ステージでの紙芝居や音楽演奏、滝ノ道ゆるゆるのシオリの色塗りなど、自然を感じる遊びがいっぱいです。



## 山林整備ボランティア養成講座 ～5月11日(土)に開催～ 受講生募集！

山林整備ボランティア養成講座を受けて、箕面の山で楽しく山林整備ボランティアの活動をしませんか！

初めての方でもベテランの山林整備サポーターといっしょなので安心して活動することができます。

☆日時:5月11日(土)午前10時～午後3時(予定)

☆集合:箕面市粟生外院5丁目「血池公園」午前9時45分

☆午前・・・技術や知識を学ぶ講義

午後・・・倒木処理や間伐などを体験

※参加費は無料、事前申込が必要(先着10名)

5月と10月にボランティア養成講座の開催を予定しています。

《山林整備ボランティア派遣の仕組み》

山林整備ボランティア派遣とは、山林所有者が高齢だったり、遠隔地に住んでいるなどの理由で、山林の手入れができない場合に、山麓保全委員会が山林所有者からの要請を受けて、山林整備を行うボランティアを派遣する仕組みです。

2023年度は61件の山林所有者からの派遣要請があり、山林整備ボランティア養成講座修了生らが、秋から冬にかけて、箕面の山麓部で整備活動を行いました。毎年、派遣要請が増えているため、ボランティアを募集しています。



午前の講義



午後の実習

## みのお森の学校～人と自然の入門講座～9月開校・第20期の受講生を募集！

森や自然のこと、もっと知りたい学びたい人のための入門講座です。実習と講義の連続講座ですので、一緒に森を楽しむ新しい仲間にも出会えます。卒業生の多くは箕面の森の守り人として活躍しています。

★2024年9月22日(日)～2025年6月15日(日) 全12回(月1～2回)

☆定員:20名(受付順) ☆受講料:15,000円 交通費は別途

※特典:受講生に野鳥のブローチを進呈します。



野鳥のブローチを進呈

	講義・実習(予定)	講義・実習(予定)
9月22日(日)	①さあ、はじめよう ②森に親しむ、森に入ろう	2月16日(日) ⑬森と人との今・昔 ⑭聖地を訪ねて、気分は巡礼
10月6日(日)	③フィールドを知ろう ④木々と友達になろう	3月16日(日) ⑮⑯ヒノキの間伐に挑戦しよう！人工林の整備
10月20日(日)	⑤里山ってなんだ？ ⑥植物の様子を調べよう	3月30日(日) ⑰⑱これぞ里山 台場クヌギ林&菊炭 炭窯見学
11月10日(日)	⑦森のいろんな働きを知る ⑧きこり体験をしよう	4月20日(日) ⑲森の癒し ⑳みのお森のセラピー体験
12月1日(日)	⑨生き物たちのつながり⑩森の贈り物を楽しもう	5月18日(日) ㉑森のいろんな仲間たち ㉒里山新発見
1月12日(日)	⑪違うって素晴らしい⑫森のおそうじ、森に恩返し	6月15日(日) ㉓森の活動紹介 ㉔箕面の森の守り人誕生



## みのお山麓保全活動助成金 2024年度前期(2月期)の助成採用

みのお山麓保全活動助成金は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り、育て、活かすために、山林所有者や市民の活動を応援(助成)する仕組みです。毎年、前期(2月)と後期(8月)にその年度の活動を募集しています。NPO法人みのお山麓保全委員会は、中間支援組織として、山林所有者や市民の活動支援や助成金を活用した活動の相談や助成申請の受付などの事務を行っています。

3月15日に、みのお山麓保全活動交付審査会を開催し、助成金の交付内容を内定しました。市民団体への助成内容は、ホームページ「山なみネット」のみのお山麓保全活動助成→助成結果のページをご覧ください。

■山林所有者(箕面市環境保全条例による自然緑地指定同意書提出者)による活動を助成  
件数:80件、筆数:219筆、面積:415,287㎡、金額:8,234,100円、山林整備サポート要請件数:54件(前年より9件増)

### 【山林所有者への助成】

箕面市環境保全条例により「自然緑地」として指定された山林において、その所有者が里山の管理を行う場合の助成金額は、土地登記簿面積1㎡あたり25円と計算します。(上限25万円)

※助成申請のためには、自然緑地等指定同意書を提出していただく必要があります。

■市民団体等による活動を助成 件数:15件、金額:1,744,000円

## 箕面の山 災害復興募金や NPO山麓委員会への募金にご協力をお願いします！

箕面の山の災害復興のための募金、及びNPO法人みのお山麓保全委員会の活動への募金(箕面の森の守りびと/サポート会員)に、ご支援とご協力をお願いします。 ※災害復興募金は、山での植樹などに用途を限定した募金です。

近年、局地的に集中豪雨が頻発する恐れがあり、市民の立場で、自然災害が少しでも少なくなるよう、植樹などの活動を地道に行っています。その為には、苗木やシカ除けの資材を購入するための資金が必要となっています。

ご寄付をいただいた方に、年4回、みのお山なみ通信や箕面ビジターセンターだよりなどをお送りいたします。



植樹用の苗木の購入



シカ除けの資材の購入



単木用の防鹿ネットの設置



シカ侵入防止柵の設置

## 5月26日(日)に NPO法人みのお山麓保全委員会の定期総会を開催します！

第23回になる定期総会を行います。昨年度の事業について報告した後に本年度の事業計画案を説明させていただきます。

皆さまからのご質問やご意見をお聞きしたいと思っておりますので、ぜひご参集ください。

※正会員以外の方でも傍聴可能です。(事前に事務局にご連絡ください)

☆ 日時: **2024年5月26日(日)** 午前10時~12時(予定)

☆ 2023年度の事業報告、2024年度の事業計画と予算、役員の選任など



## NPO法人みのお山麓保全委員会の新しい事務所にお立ち寄りください！

NPO法人みのお山麓保全委員会は、箕面文化・交流センターが、2024年3月31日をもって建て替えにより閉館となるため、新しい事務所に移転しました。

新しい事務所は、**阪急箕面駅前の「箕面駅西」交差点から歩いてすぐの箕面駅前ビルの3階**です。市民や山林所有者、行政など関係者の皆さま、お気軽に、新しい事務所にお立ち寄りください。



NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001 箕面市箕面1-2-6 箕面駅前ビル301号室

電話&FAX:072-724-3615 携帯電話:090-1133-3615

メール:yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: www.yama-nami.net (検索:山なみネット)

\* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

